

位置図



雲南加茂スマートICのご利用方法

雲南加茂スマートインターチェンジは、24時間出入りが可能で、ETC車載器を搭載した全車種が通行できます。

＜ご利用にあたっての注意＞

- 雲南加茂スマートICは、ETC専用です。必ずETCカードを車載器に挿入して通行してください。
※ETC車載器を搭載していない車両が、誤ってスマートICに進入した場合は、バックをせず戻ることができるようになっており、より安全にご利用になれます。
- 雲南加茂スマートICでは、車両が停止した状態であれば開閉バーが開きません。ETCゲートの前で必ず「一旦停止」し、バーが開いてから通行してください。
- 雲南加茂スマートICは、近接する松江玉造料金所にて管理しており、係員は常駐しておりません。ご利用の際、ご不明な点がございましたら、インターホンなどをご利用のうえ、お申し出ください。係員がご案内します。

ETC車限定！

ETC

ETC車載器が搭載されていない車両や、ETC車載器が故障していたり、ETCカードの有効期限が切れている場合はご利用いただけません。



必ず一旦停止！

STOP

スマートICでは、ETC車でも必ず一旦停止が必要です。開閉バーが開いたことを確認してご通行ください。通常の料金所のように徐行しても開閉バーは開きません。十分ご注意ください。



詳しくは、NEXCO西日本公式ホームページをご覧ください。 <https://www.w-nexco.co.jp/etc/smartic/>



雲南加茂スマートIC⇔各IC間の主な区間の料金(ETC通常料金)

| IC名 | 距離 | 軽自動車等 | 普通車 | 中型車 | 大型車 | 特大車 |
|-------|--------|-------|------|------|--------|--------|
| 松江玉造 | 21.8Km | 640円 | 750円 | 870円 | 1,140円 | 1,790円 |
| 宍道 | 7.7Km | 330円 | 370円 | 420円 | 510円 | 740円 |
| 三刀屋木次 | 4.5Km | 260円 | 290円 | 310円 | 370円 | 500円 |
| 斐川 | 10.7Km | 400円 | 450円 | 510円 | 640円 | 960円 |
| 出雲 | 24.3Km | 690円 | 820円 | 950円 | 1,250円 | 1,970円 |

※出雲方面をご利用のお客は、斐川本線料金所にて通行料金をお支払いいただけます。※割引適用条件を満たすことによりETC割引等の各種割引の適用があります。



雲南市

〒699-1392 島根県雲南市木次町里方521-1
TEL0854-40-1064(建設部 都市計画課)



雲南市

ETC専用 E54 松江自動車道

雲南加茂

スマート

IC

インターチェンジ

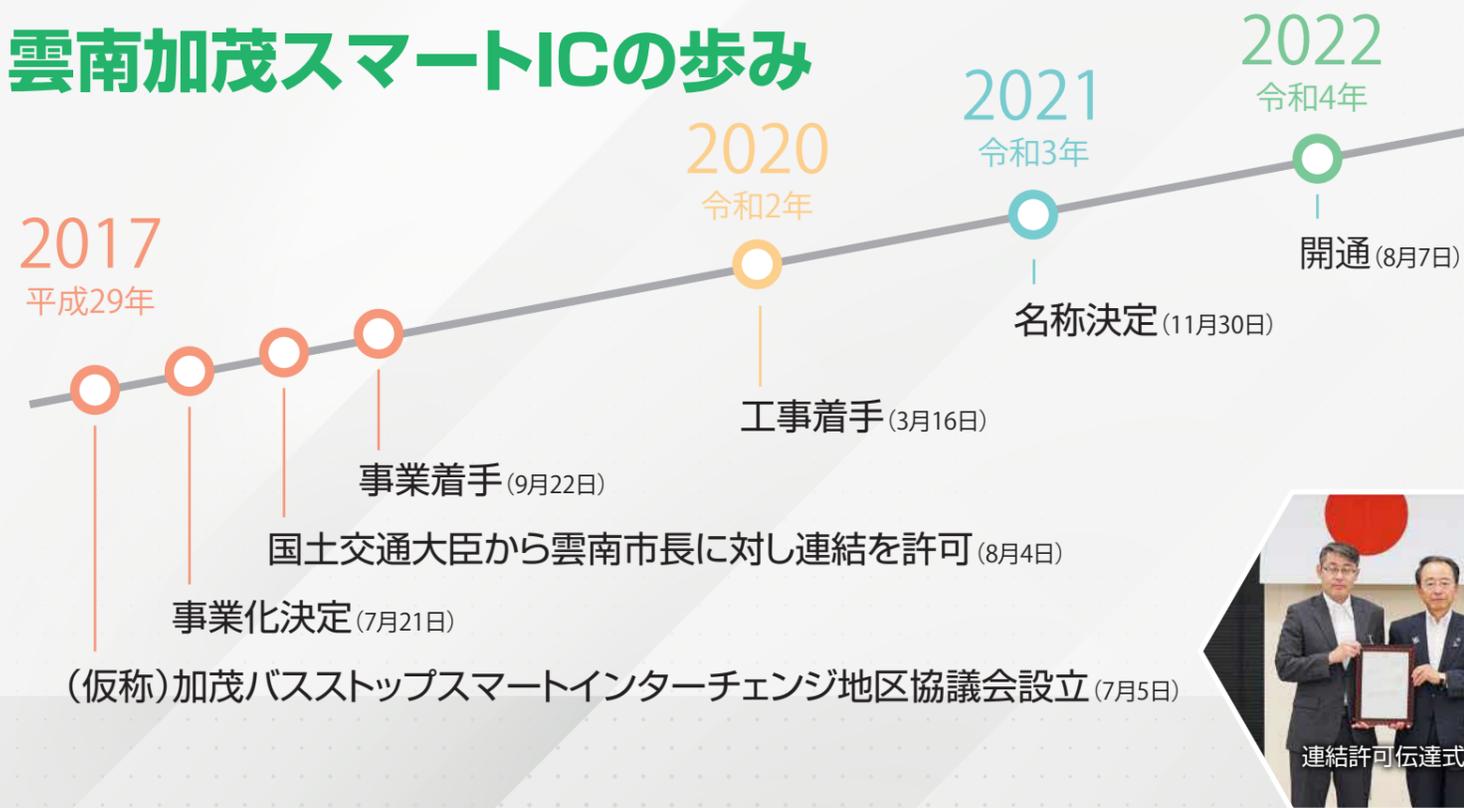
も
っ
と
便
利
に
。

も
っ
と
身
近
に
、

2022(令和4)年 8月7日(日) 開通



雲南加茂スマートICの歩み



2017年8月に国土交通省より松江自動車道への連結許可を頂いて以降、西日本高速道路株式会社中国支社と共同で事業実施してきました「雲南加茂スマートインターチェンジ(スマートIC)」が、令和4年8月7日(日)15時に開通しました。

雲南加茂スマートICは、隣接して整備する「神原企業団地」への企業誘致や産業活動の促進、市内または近隣都市圏との連携強化による地域の魅力向上・

定住促進、加茂地区に集積する文化・スポーツ施設および観光地へのアクセス向上による交流人口の拡大と地域活性化、そして災害時における代替路の確保に効果を発揮します。

神原企業団地および雲南加茂スマートICの整備は、互いに相乗効果を発揮し、企業の進出、雇用が促進することで、若者や子育て世代の定住化と市外からの移住が期待されます。

期待されるストック効果(主なもの)

企業進出による定住促進

雲南加茂スマートICに直結する「神原企業団地」への企業進出が進み、更なる地域活性化が図られるとともに、雇用の増大などによる定住促進が期待されます。

地域資源である森林資源の活用促進

雲南加茂スマートICを活用することで「吉田木材流通拠点施設」と「加茂木材流通拠点施設」とが連携し、雲南市の豊富な森林資源(木材)を効率的に流通することができ、また、森林資源を活用した地域活性化が期待されます。

定住拠点整備+道路ネットワーク強化による定住促進

高速道路へのアクセス向上により、近隣都市拠点間のネットワークが強化され、住宅団地や教育施設が集積する加茂地区の利便性の向上、更なる定住促進が図られます。また、雲南市北部エリア(大東・加茂地区)と南部エリア(吉田・掛合地区)への時間距離を短縮することで、地域間交流が促進されます。

災害時における代替路の確保

雲南加茂スマートICが整備されたことで、加茂地区への主要幹線道路である国道54号に加え、災害時における救急活動や物資輸送経路の代替性が強化されます。

完成図

